

## (5) 歴史的景観

### 1) 特性と課題

函館における歴史的景観は、函館発祥の地・函館港開港の地である西部地区に代表される。

西部地区においては、歴史的な建造物が数多く建ち並び、開港以来の歴史的遺産や特有の文化が豊かに蓄積され、それらが背後の函館山や函館港と相まって、他に類のない固有の歴史的環境がつくり出されている。

西部地区では、函館市西部地区歴史的景観条例（昭和63年制定）によって、その歴史的景観に対する各種の保全・保存策が講じられてきたが、今後より一層の施策の強化が必要とされる。

また、歴史的遺産を中核として、その保存・整備と周辺の修景・整備が必要とされる地区として、特別史跡五稜郭跡、史跡四稜郭、史跡志苔館跡とそれらの周辺をあげることができる。

特に、特別史跡五稜郭跡とその周辺については、箱館奉行所の復元をはじめとする保存・整備の強化とともに、歴史・文化ゾーンとしての整備・修景の一層の推進がのぞまれる。

その他、北洋漁業、造船といった函館の産業の中核をなしてきたものが創り出してきた景観も、今後の都市づくりにできる限り活用していく姿勢が大切である。



西部地区の歴史的景観

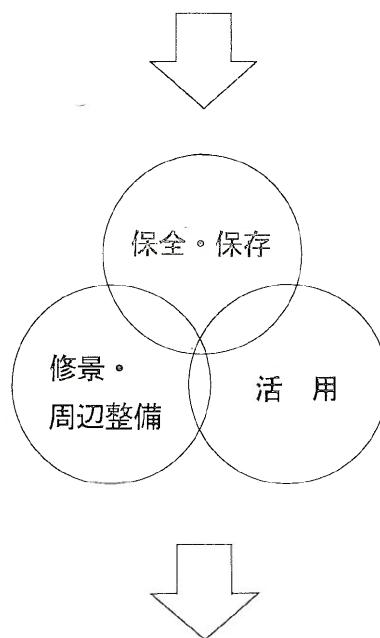


特別史跡五稜郭跡



## 2) 基本方針

- ① 西部地区の歴史的景観の保全・保存策を強化する。
- ② 特別史跡五稜郭跡とその周辺を保存・整備・修景する。
- ③ その他の史跡等の歴史的遺産を保存し、その周辺を整備する。
- ④ 歴史的な産業遺産などを活用する。



テーマ

歴史が現在に息づくまちを創造する

### 景観形成のキーワード

- |           |            |
|-----------|------------|
| • 開港      | • 諸外国文化の導入 |
| • 煉瓦      | • 石畳       |
| • 異国情緒    | • 和洋折衷     |
| • 明治維新    | • 蝦夷共和国    |
| • 開拓使     | • 北方民族文化   |
| • 北洋漁業の基地 | • 造船       |
| • 市民活動    | • イベント     |



### 3) 対象

歴史的景観の対象として、市内にある主な歴史物とその周辺を取り上げる。

また、歴史的景観として貴重な西部地区と、歴史的遺産の活用とそれをいかした周辺整備がのぞまれる特別史跡五稜郭跡およびその周辺を「歴史的景観形成ゾーン」として設定し、取り上げる。

### 4) 施策の方向

#### ① 西部地区の歴史的環境の保全

歴史的建造物等の保全・保存策を強化するとともに、地区にふさわしい道路整備と、住環境の改善を推進する。

歴史的景観形成ゾーン内の建築物等においては、地域における歴史的環境の保全・育成を図るため、その位置、規模、形態、色彩等について、周辺の町並みに調和するよう配慮を促す。

#### ② 特別史跡五稜郭跡およびその周辺の整備

特別史跡五稜郭跡の保存・整備を推進するとともに、周辺地の良好な文化ゾーンの形成、歴史的環境をいかした整備・誘導を図る。

箱館奉行所については、復元の方向で、調査・研究を進める。

#### ③ 歴史的遺産の活用

市民に親しまれている貴重な歴史的遺産については、今日の都市生活に適用する多様な活用を図るとともに、周辺の環境整備を進める。

#### ④ 市民と一体となった推進

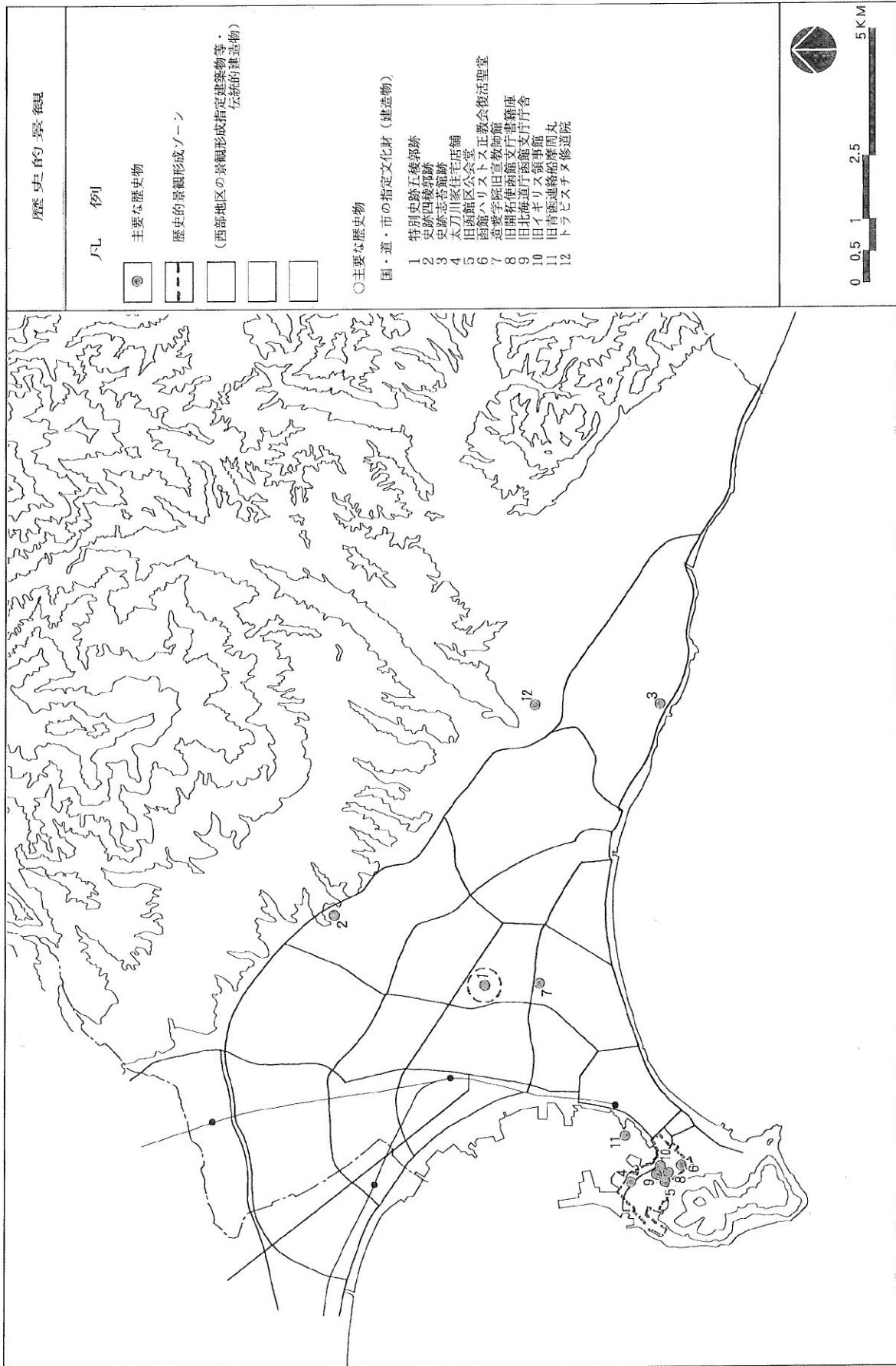
歴史的環境の保全・保存にかかわる多様な市民活動との連携を密にし、市民と一体となった歴史的環境保全の推進体制を整備する。

#### ⑤ 公共建築物の保全・活用

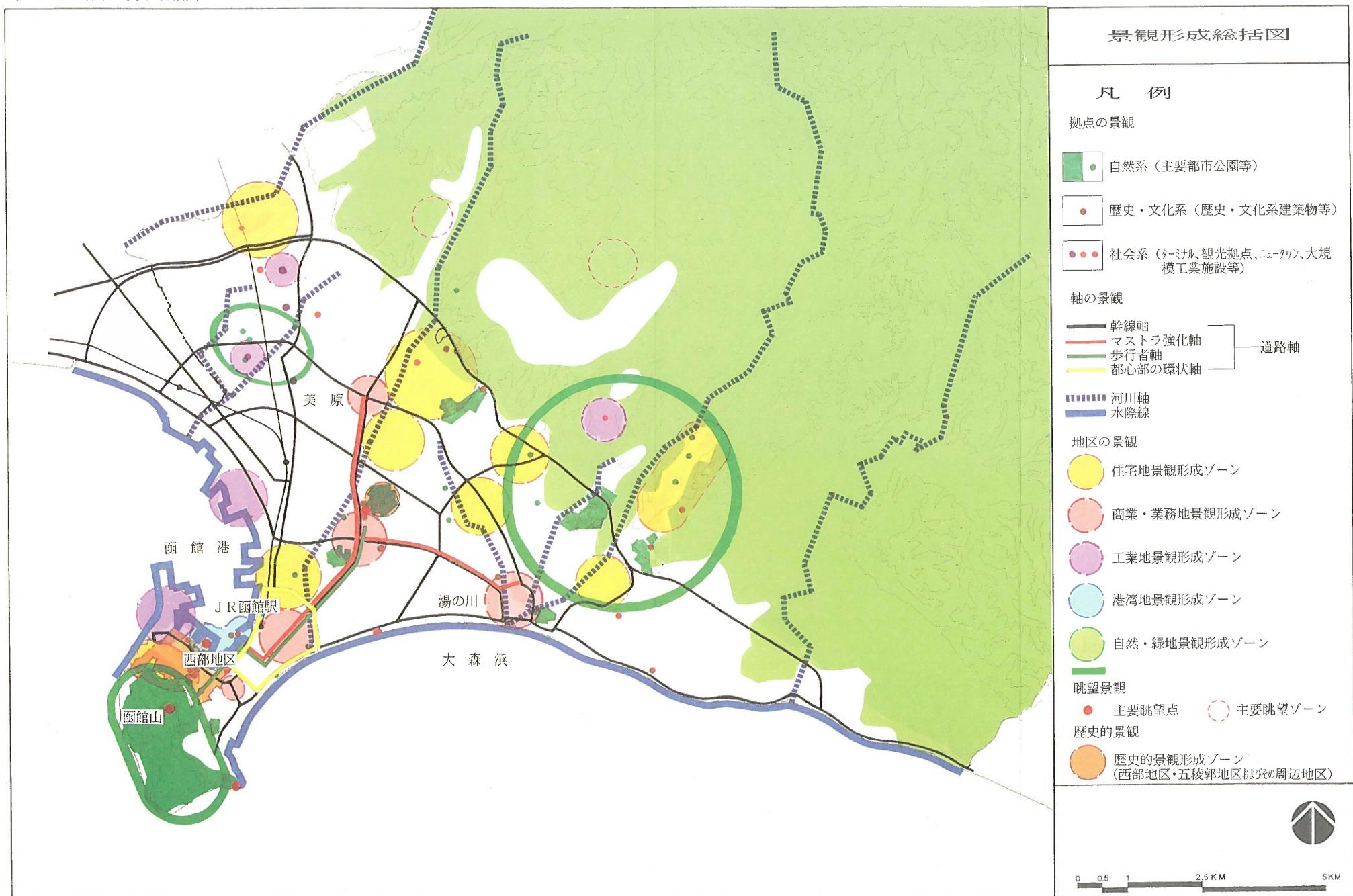
公共建築物のうち保全活用の必要があるものについては、市が自らその先導的役割を果すよう努める。



● 歴史的景観（対象）



◎ 類型別計画（対象）総括図



### 3. 要素別計画

#### (1) 索引

##### 1) 特性と課題

緑は、都市において自然との調和を保つ重要な要素であるが、都市空間にうるおいを与え、四季を感じさせ、空間の一体感・連続感を演出する、都市景観上の重要な要素でもある。

函館においては、函館山の緑が都市のランドマークとなっており、北側の山岳の緑とともに、大きな緑の骨格をつくっているが、市街地においては、公園・緑地の整備状況などを含め、その量およびネットワークとも充分ではない。

そのため、公園・緑地の整備を進めるとともに、緑化の推進を基本として、長期的な視点に立って市街地における緑の量の増加と、緑のネットワーク形成を図ることが必要である。

また、身近な環境での緑化は、住宅の緑など、市民自らが参画しながら進められる部分が多く、市民と行政が一体となって進める都市景観形成を図る上でも、積極的に推奨する必要がある。

##### 2) 基本方針

都市景観の形成に効果的な緑化を目指し、市街地における緑のネットワーク形成を図るとともに、身近な環境での緑化を推進する。



公園の緑



街路の緑



### 3) 計画の指針

#### ① 公共空間において緑を整備する

- ・ 函館公園や五稜郭公園、見晴公園などの豊かな緑を保全するとともに、各公園整備にあたっては、より緑豊かな整備を行う。
- ・ 公共建築物の計画にあたっては、既存の緑をいかすとともに、効果的な植樹、植栽により、緑豊かな空間整備に努める。
- ・ 道路・河川敷等の街路樹・植栽等は、各軸線の特性を考慮しながら、連続感のある、豊かな緑の軸線が創造されるように努める。
- ・ 樹木名や花名を表示して、緑に対する理解と親しみを深める。

#### ② 地域・場所を緑で特色づける

- ・ 街角、橋詰、玄関前などに目印となる樹木を植え、その場所を演出する。
- ・ 寺社の境内などの豊かな空間の緑を保全・育成し、地域にうるおいをもたらすように工夫をする。
- ・ 花いっぱい運動などの展開により、地域の景観を緑豊かなものとともに、地域・場所の特色をつくっていく。

#### ③ 施設を緑で修景する

- ・ 都市景観形成上、阻害的な要因となる駐車場・ブロック塀・擁壁などを、植え込みやツタ類で修景するように工夫をする。
- ・ 工業地や商業・業務地にあっても、地域内にポケットスペースなどを適切に配置し、地域に緑によるうるおいをもたらすように工夫をする。

#### ④ 身近な環境での緑化を推進する

- ・ 住宅地においては、生垣や前庭部の植栽などにより、町並みに緑の連続感が生まれるように工夫をする。
- ・ 各家庭の緑化や各団体の植樹・花壇づくり活動などを支援し、運動として展開をする。
- ・ 集合住宅などのベランダや窓辺の鉢植えなどは、道路から見えるように工夫をする。
- ・ 駐車場の周囲は、植え込みや生垣などにより、視線を遮るように工夫をする。
- ・ 新たな開発を行う際には、出来る限り敷地内にある既存の樹木や緑地をいかすように工夫をする。
- ・ 緑化運動の推進や緑化協定の奨励など広範な啓発活動をつうじて、市民意識の高揚を図る。



## (2) 水

### 1) 特性と課題

水は、緑とともに、都市において自然を感じさせる重要な要素であり、都市空間にうるおいを与え、変化とリズム感など、多様な演出を可能とするなど、都市景観上の重要な要素でもある。

函館は、市街地の周囲を海と港に包まれ、非常に大きな水の環境に恵まれた都市であるが、河川を含め、水と親しみ、憩うといった、市民生活に密着した水空間は少ない。

今後は、海岸線・港や河川における水質の浄化と親水性の高い憩いの空間の創出とともに、公園などにおける噴水や流水・落水などの水をいかした多様な演出を行い、豊かな水環境を身近に感じることのできるような空間整備が必要とされる。

また、緑と水のネットワーク形成により、都市にうるおいとやすらぎを演出する総合的な環境の整備が必要とされる。

### 2) 基本方針

海岸・港・河川といった水空間を活用し、市民が水と親しむことのできる水空間をつくる。また、公園などのオープンスペースに積極的に水を導入し、効果的な演出を行うことにより、水と緑が調和した、特徴ある都市景観形成を図る。



---

### 3) 計画の指針

- ① 水辺を親しみのある場に整備する
  - ・ 港湾地においては、水を身近に感じながら散策できるプロムナードや水と親しむことのできる広場を整備し、親水性の高いウォーターフロントを創造する。
  - ・ 河川敷や海岸線の周囲は、安全性を確保しつつ、身近に水に触れ、親しむ空間整備に努めるとともに、緑とのネットワークを形成し、うるおいに満ちた空間整備に努める。
- ② 都市空間に柔らかさを与える
  - ・ 人工的な環境の中に噴水や流水・落水などの変化する水を取り入れ、都市空間をうるおいのあるものとする。
  - ・ 公園・広場・港内などで水を活用した空間整備を行い、その変化による楽しさと柔らかさを演出する。
- ③ 地域・場所の景観を特徴づける
  - ・ 公共施設の前庭や公園・駅前広場などのオープンスペースに、噴水や流水・落水などを設置することにより、楽しさを演出するとともに、モニュメントのひとつとして、その地域・場所の景観を特徴づける。
  - ・ 噴水や流水・落水などの設置にあたっては、夜間の光による演出も考慮するとともに、冬期間の水のない状態においてもうるおいのある空間となるように工夫をする。
- ④ 水質を保全し浄化する
  - ・ ごみの投棄や下水の流入を防止し、また河川においては雑草を取り除くなどして、水質の保全・浄化、自然環境の回復に努める。



### (3) 光

#### 1 ) 特性と課題

光には、夜間の安全性を高める機能のみならず、夜間の都市の姿を演出し、都市の魅力を高める演出的な機能ももっており、その効果的な演出により、都市景観に新たな個性と魅力をもたらすものとなる。

函館においては、函館山山頂から望む市街地の夜景が広く知られ、その美しさは世界一ともいわれている。

また、近年では光の演出により夜景の魅力を高め、市民が共に光を楽しむイベントなども開催され、さらに、西部地区を中心に歴史的建造物などのライトアップや街路照明の整備が進められたことなどによって、光は、函館の都市の景観を特徴づける非常に大きな要素となっている。

しかし、市街地内部では街路照明等が充分ではないところも多く、また商業地においても光のにぎわいが不足しているところが多い。

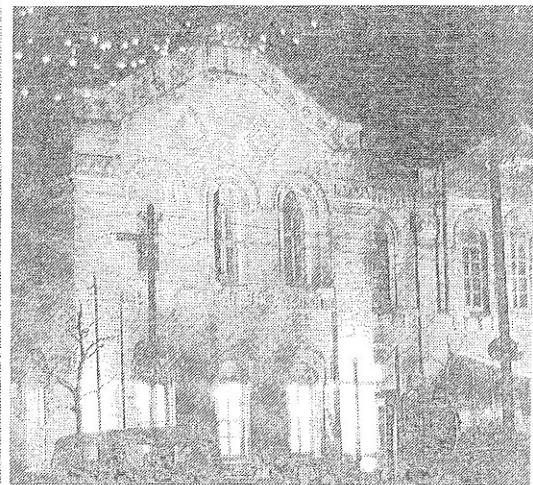
今後は、地域の夜間における安全性を高める光の整備とともに、夜景のまちにふさわしく、個性的で魅力あふれる夜間の都市空間の創出に努め、光豊かな都市空間を創出していくことが必要である。

#### 2 ) 基本方針

市街地の夜景を保全し、より魅力あるものとするとともに、観光地や中心商業・業務地における夜間景観の魅力的な演出に努める。



函館山山頂からの夜景



建物のライトアップ<sup>°</sup>

